

やまなし建設産業担い手確保・育成アクションプラン
(改定版) (案)

令和 7 年 3 月

建設産業担い手確保・育成産学官連携会議

I アクションプランの策定趣旨

建設産業はインフラの整備や老朽対策の維持管理、多発する災害に対する防災・減災・強靱化や復旧など、県民生活の安全安心を支える地域の守り手としての役割を担っているが、その体制を維持し健全に発展するためには、担い手の確保、特に若手の担い手の確保が課題となっている。

このため、産学官が連携し、県内建設産業の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、「地域の守り手」である建設産業の健全な発展を図るための若手の担い手確保を目的とした「建設産業の魅力を伝える」施策と「建設産業の魅力を高める」施策などにより構成される「やまなし建設産業担い手確保・育成アクションプラン」を策定した。

国における建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画*を受けて、一部改定

*女性活躍・定着促進を切り口としつつ、全ての人が働きやすく働きがいのある魅力ある建設産業の実現を目指す

II 計画期間

計画期間は令和6年度から令和8年度までとする。

III 施策項目

1 建設産業の魅力を伝える

①建設産業のイメージアップ

○キャリア教育への参加

- (1) ICT技術体験会参加企業と学校のマッチング
- (2) 小中学生に対する出前講座
- (3) 総合学科等の生徒との意見交換会等の開催

○建設産業の情報発信

- (4) 中学生向け・高校生向けデジタルパンフレットの作成→配付
- (5) インフラ見学会の開催
- (6) インフラ施設の魅力発信(富士の国やまなしインフラガイドの土木遺産の情報発信など)

②若手技術者の確保

○建設学科・系列学生の入職促進

- (7) 総合学科・系列の生徒に対するICT技術体験会等の開催
- (8) 建設学科・系列との意見交換会等の開催
 - ・若手技術者と高校生との意見交換会の実施
 - ・若手経営者と高校生との意見交換会の実施
 - ・女性技術者と女子生徒との意見交換会の開催

○建設産業の情報発信

- (9) インスタグラム(県土やまなし未来づくり)、ユースバンクやまなしによる県内外進学者、若手技術者等へのアプローチ
- (10) 東京事務所・大阪事務所を通じ、U・Iターン就職促進就職促進協定締結校等への情報提供

2 建設産業の魅力を高める

① 就労環境の改善等による離職防止

- (11) 若手技術者会議の開催
- (12) 週休二日制の推進

② 女性・定着活躍の推進

- (13) 女性技術者活躍・定着推進会議の開催

【再掲】(8) 女性技術者と女子生徒との意見交換会の開催

3 産学官の連携強化

- (14) 建設産業担い手確保・育成産学官連携会議の開催

IV 施策の内容

1 建設産業の魅力を伝える

①建設産業のイメージアップ

○キャリア教育への参加

施策番号・名		(1) ICT技術体験会等の参加企業と学校のマッチング									
施策内容：児童・生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため、県が主体となってICT技術体験会等における各団体と教育現場とのマッチング・連絡調整 ：ICT技術体験会等への参加企業の募集 → 参加企業一覧表の作成 → 公立小中学校長会支部会で説明・中学校へ周知 (年2回)											
施策対象		中学生									
☐ 継続 ☐ 拡充 ☒ 新規											
主 体		県、建設産業関係団体									
産学官 の役割	産	ICT技術体験会等参加企業の募集及び参加促進									
	学	ICT技術体験会への助言									
	官	参加企業の整理、公立小中学校長会支部会での説明・一覧表の配付、連絡調整									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
参加企業募集		校長会で説明								校長会で説明	
		一覧表の配付									
						ICT 技術体験会					

施策番号・名	(2) 小中学生に対する出前講座										
施策内容：児童・生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため、環境整備活動を含む出前講座及びインフラ見学会の実施 【出前講座】・じどう車くらべ：小学校（建設業協会） 建設重機・道路パトロール車 ・私の学校はここにあるプロジェクト：小中学校（県測量設計協会）経緯度標を測量 ・校庭の樹木剪定：中学校 芝生整備：小学校（県造園建設業協会） ※1 令和7年度に令和8年度の実施校を募集 ※2 中学校の一部は、ICT技術体験会を実施 ※3 運営上支障のない範囲内で保護者の参観を検討（自由参観）											
施策対象	小・中学生、保護者										
☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体										
産学官 の役割	産	応募校との調整・実施									
	学	出前講座への助言									
	官	公立小中学校長会各支部での募集									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	当年度実施校の募集							翌年度実施校の募集			
											
出前講座											
【備考】 R 6 年度 ・じどう車くらべ 小学校 （建設業協会） 18 回・21 校 ・私の学校はここにあるプロジェクト 小中学校 （県測量設計協会） 2 校 ・樹木医の講義・剪定作業 中学校 （県造園建設業協会） 1 校 R 7 年度 ・じどう車くらべ 小学校（県建設業協会） ※実施箇所数、回数等は協議により決定 ・私の学校はここにあるプロジェクト 小中学校（県測量設計協会）：2 校程度を予定 ・樹木医の講義・剪定作業 小中学校 （県造園建設業協会）：1 校程度を予定											

施策番号名	(3) 総合学科等の生徒との意見交換会等の開催										
施策内容：インフラの整備・維持や災害復旧など地域の守り手としての重要な役割を担う建設産業の魅力や現状を知ってもらう機会として、総合学科等を対象に意見交換会等を開催 ※保護者の参観を検討（自由参観）											
施策対象	総合学科5校程度を想定										
☐ 継続 ☒ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体、県教委										
産学官 の役割	産	説明内容の検討、講師の人選									
	学	説明会の機会確保、開催時期									
	官	業界団体・学校との調整、講師の人選									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
				開催日程・説明者等の調整、説明会開催							
【備考】 R 6 年度 ・北杜高校（「産業社会と人間」建設分野として開催） ・笛吹高校（プロフェッショナル・デイとして開催） ・甲府城西高校（建設産業説明会として開催） R 7 年度 ・青洲高校、都留興譲館高校、北杜高校、笛吹高校、城西高校等を想定											

○建設産業の情報発信

施策番号・名	(4) 中学生向け・高校生向け啓発用デジタルパンフレットの作成・ 配付										
施策内容	建設産業の魅力を伝え、3Kイメージを払拭する内容を、マンガを活用して分かりやすく興味を引く構成とするとともに、保護者向けの項目も追加した中・高生向けのデジタルパンフレットを作成した。 年度の早い段階で県内の全中学・高校に情報共有することにより、建設産業への関心を高める。 また、これにより興味を持った生徒を(5)のインフラ見学会への参加のきっかけとしてもらう										
施策対象	主に中学1年生、 中学2・3年生 や 高校生にも配布										
☐ 継続 ☒ 拡充 ☐ 新規											
主 体	主体：県、建設産業関係団体、高校										
産学官 の役割	産	内容への意見、情報・素材の提供									
	学	内容への意見、情報・素材の提供、配付・周知への協力									
	官	編集、配付									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
配付											
【備考】 R6年度 県内中学校、高校生に配付（9月） （内容）建設業の役割・やりがい、現状や未来、保護者向け啓発ページ等についてマンガを用いた分かりやすいもの R7年度 県内中学校、高校生に配付（通年）											

施策番号名	(5) インフラ見学会の実施										
施策内容：(4)で配布したデジタルパンフレットにより建設産業に興味を持った生徒を主な対象として、公共施設や災害復旧工事の現場等の見学会を開催する。 複数の現場や施設をバスで移動しながら見学し、建設産業が担う社会的な役割や重要性、やりがい、ものづくりの楽しさ、地図に残る仕事のおもしろさ等を伝え、建設産業の仕事を身近に感じ知ってもらう機会を提供し、県内高校の建設系課程への入学や将来の建設産業への入職を促進する。 対象：主に中学2年生（申込状況により小学5・6年生とその保護者や中学1、3年生及び高校生・大学生も参加可とする） ⇒ 見学の際の現場担当者として、実際に現場を施工する県建設業協会会員企業への協力を依頼する予定。 回数・参加者数：2回 各回40名 見学先：公共施設や災害復旧現場、リニア中央新幹線の工事箇所や供用開始予定の道路など											
施策対象	小学生とその保護者、中学生、高校生、大学生、若手技術者										
☐ 継続 ☐ 拡充 ☒ 新規											
主 体	県										
産学官 の役割	産	見学会									
	学	見学会への助言									
	官	見学先の選定、公立小中学校長会各支部での募集									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
見学場所・時期等調整											
実施											
実施											
【備考】											
・1回の見学会で複数箇所の現場や施設を見学 ・見学場所については、建設事務所等の県土整備部内各所属の協力を受け、決定 ・R6年4月から建設業の時間外労働の上限規制が開始され、休日の開催が困難となるため、平日開催できる夏季・冬季の長期休暇期間における実施を検討											

施策番号名	(6) インフラ施設の魅力発信(富士の国やまなしインフラガイドの土木遺産の情報発信など)										
施策内容: 富士の国やまなしインフラガイド(HP)によりインフラ施設の魅力を情報発信 土木遺産に係わる動画の作成・やまなしインフラカードの配布 富士の国やまなしインフラガイド(リーフレット)の配布 など											
施策対象	小中学生、高校生、大学生、 保護者 、若手技術者										
☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県										
産学官 の役割	産										
	学										
	官	インフラ施設の情報発信・インフラガイド、カード等を配布など									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
				カード・リーフレット配布							
					HP 公開						
								土木遺産講演会			
R 6 年度 ・富士の国やまなしインフラガイド(HP)の情報更新 ・やまなしインフラカードの配布 全27種類 プレミアムカード3種類 ・Instagram「県土やまなし未来づくり【公式】」の運営 ・富士の国やまなしインフラガイド(リーフレット)を建設産業説明会や、インフラ見学会、出前講座(じどう車くらべ等)で配付 R 7 年度 ・富士の国やまなしインフラガイド(HP)の情報更新 ・やまなしインフラカードの配布 全27種類 プレミアムカード3種類 ・富士の国やまなしインフラガイド(リーフレット)をインフラ見学会、ICT等体験学習会、出前講座(じどう車くらべ等)で配付											

②若手技術者の確保

○建設学科・系列学生の入職促進

施策番号・名	(7) ICT技術体験会の開催										
施策内容： 従来実施してきた(2)、(3)、(8)に加え、ICT技術を主眼においた実演・実体験できる体験会を実施し、学校の授業だけでは得ることのできない知識や技術が現場で活用されている現状を知ってもらい、将来のキャリアビジョンをより具体化する機会を提供する(講師に女性や技術者を選定し、説明又は意見交換会、フリートーク形式の説明と併せて実施可能) また、従来実施してきた中学生を対象とした出前講座との同時開催や、インフラ体験学習会により建設業に興味を持った中学生のうち、さらに知識を深めたい希望者を対象へも実施する。 対象：中学生、高校生、保護者(自由参観) 回数：13回程度 想定内容：ドローンや三次元測量などICTやデジタル技術の活用に係るもの その他：各建設事務所保有のドローンを可能な限り活用する。											
施策対象	建設の学科・系列生徒、保護者(自由参観)										
☐ 継続 ☐ 拡充 ☒ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体、県教委										
産学官 の役割	産	実施内容の検討、参加者(説明者)の人選、実演用ICT機器等の手配									
	学	体験会の機会確保、開催時期・説明会の構成検討									
	官	業界団体・学校との調整									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
							体験会の参加者・日程等の調整				
【備考】											
R6年度 県測量設計業協会(中学校1校)、県建設業協会(中学校1校、高校7校)											
R7年度 各学校、団体と実施校調整予定											

施策番号・名	(8) 建設学科・系列との意見交換会等の開催										
施策内容：建設系科の生徒たちの建設産業の仕事への関心を高め、建設の学科・系列を選択してもらうため、建設産業説明会を開催する。主に進路選択前後の高校1年次において説明会を開催し、建設産業が担う役割の重要性や、やりがい、ICT等を活用した現場の生産性・安全性の向上などの現在の姿を伝え、建設産業で働く魅力を伝える。 対 象：若手経営者、若手技術者、女性技術者、保護者											
施策対象	建設系学科や課程、系列を選択した生徒、保護者（自由参観）										
☐ 継続 ☒ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体、建設小町メンバー、県教委										
産学官 の役割	産	説明内容の検討、参加者（説明者）の人選									
	学	説明会の機会確保、開催時期・説明会の構成検討									
	官	業界団体・学校との調整、建設小町メンバー									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
		意見交換会の開催日程・説明者等の調整									
		説明会開催									
【備考】 R 6 年度 若手経営者との意見交換会：甲府工業高校 土木科 若手技術者との意見交換会：甲府工業高校 建築科 女性技術者との意見交換会：甲府工業高校 建築科 R 7 年度 青洲高校・都留興譲館高校、農林高校、北杜高校・笛吹高校・富士北稜高校の総合学科で建設系学科や課程、系列を選択した生徒、甲府工業高校定時制を想定（7）の実施状況も含め、各学校、団体と実施校調整予定											

○建設産業の情報発信

施策番号・名	(9) インスタグラム「県土やまなし未来づくり【公式】」、ユースバンクやまなしによる県内外進学者、若手技術者等へのアプローチ										
施策内容：インスタグラム「県土やまなし未来づくり【公式】」の運用 県内外の大学生・専門学校生や高校生などに県内のインフラ施設や建設産業の魅力、社会的役割などを知ってもらい、興味や関心につなげるため、産学官の連携によるインスタグラムを運営 ：ユースバンクやまなしの活用 県外に進学しても県内就職に関する情報を提供できるようにするため、ユースバンクやまなし等を活用した情報発信を行う。就職説明会等の情報を伝え、U・Iターン就職を希望する学生が建設産業への入職を考えるきっかけ作りを推進											
施策対象	県内外大学・短大・専門学校進学者・若手技術者・高校生等										
☐ 継続 ☒ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体										
産学官 の役割	産	インスタグラムの周知・情報提供、ユースバンクやまなしへの登録情報収集									
	学	学生・生徒への周知協力、ユースバンクやまなしへの登録促進									
	官	インスタグラム公式アカウント・管理、情報掲載、周知 ユースバンクやまなしへの情報発信依頼									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
インスタグラム周知											
				インスタグラムの運用							
				ユースバンクやまなしによる情報発信							
【備考】											
ユースバンクやまなし 県内就職に役立つ情報（就職説明会、インターンシップ、就職イベント等）をメール配信、登録数：約 2,500 人（県内外大学等進学者）											

施策番号・名	(10) 東京事務所・大阪事務所を通じた、U・Iターン就職促進協定校等への 情報提供										
施策内容：本県と「U・Iターン就職促進協定」を締結している大学等に対し、本県東京事務所・大阪事務所を通じて、本県出身の多く在籍する大学等に就職情報等の提供を行う。 就職説明会等の情報を伝え、U・Iターン就職を希望する学生が建設産業への入職を考えるきっかけ作りを推進											
施策対象	県内外大学・短大・専門学校進学者										
☐ 継続 ☐ 拡充 ☒ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体										
産学官 の役割	産	登録情報の提供									
	学										
	官	東京事務所・大阪事務所との連絡・調整、情報発信									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
			東京事務所・大阪事務所との連絡・調整								
			協定締結校に送付する情報の提供、収集等								
			協定締結校への情報提供								
【備考】											

2 建設産業の魅力を高める

①就労環境の改善等による離職防止

施策番号・名	(1 1) 若手技術者会議の開催											
施策内容：就労環境の改善等による若手技術者の離職防止を図るため、入職4～8年目の若手技術者をメンバーとする「若手技術者会議」を産学官連携会議の部門会議として設置し、若手技術者の離職防止に向けた課題抽出・改善の方向性を検討 ：企業や会社の枠を超えて若手入職者同士の横のつながりを構築し、モチベーション向上を図るため、次の取り組みを展開 ・新規入職者向けのフォローアップ意見交換会の開催 入職1～2年目の入職者同士が仕事上の悩みや不安を話し合う意見交換会の開催 ・やまなし技術者スピリッツの作成（県HP等掲載） ・インスタグラム（県土やまなし未来づくり）への参加												
施策対象	若手技術者、関係団体、企業											
☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 新規												
主 体	県、建設産業関係団体											
産学官 の役割	産	メンバー募集、制度設計・運営支援、技術支援										
	学	生徒へのやまなし技術者スピリッツの周知										
	官	制度設計・運営支援、技術職員の参加										
施策スケジュール												
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
メンバーの選定等				●会議開催			●意見交換会開催					
				やまなし技術者スピリッツの作成								
【備考】 R 6 年度 会議：1 回開催 R 7 年度 会議：1 回開催予定												

施策番号・名	(1 2) 週休二日制の推進										
施策内容：建設業の職場に抱かれやすい3K（きつい・きたない・危険）の「きつい」というイメージを払拭し、長時間労働の是正を図るため、週休二日制を推進 ：県の発注工事において、週休二日制適用工事を実施											
施策対象	企業										
☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体										
産学官 の役割	産	働き方改革の推進									
	学										
	官	週休二日制適用工事の実施									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
週休二日制適用工事の運用（原則、すべての工事）											
【備考】 ウィークリースタンス、ワンデーレスポンスの推進											

②女性活躍・定着の推進

施策番号・名	(13) 女性技術者活躍・定着推進会議の開催										
施策内容：女性技術者の活躍・定着推進を図るため、女性技術者や高校の建設の学科・系列女性教員をメンバーとする「女性技術者活躍・定着推進会議」を産学官連携会議の部門会議として設置し、女性技術者が働きやすい・働き続けることができる環境の整備に向けた課題抽出・改善の方向性を検討 ・ライフステージに応じた良好な取組事例の収集・情報共有 (フレックスタイム制、テレワーク、時短勤務、職種の変更、復職等) ・女性が活躍できる分野(建設ディレクター等)のアピール ⇒ 女性の活躍事例のPR(ICT技術体験会、パンフレット掲載など) ・柔軟な現場代理人制度の検討(一堂に会した朝礼の見直し等) ・ベテランの若手指導者の指導方法についてノウハウの共有を検討 ・若手技術者組織への参加 ・やまなし技術者スピリッツへの参加 ・Instagram(県土やまなし未来づくり)への参加											
施策対象	女性技術者、関係団体、企業										
☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体										
産学官 の役割	産	けんせつ小町甲斐のメンバー参加、検討内容等を協会内企業に情報提供									
	学	女性教員の参加									
	官	けんせつ小町甲斐のメンバー参加、建設業対策室事務局									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
メンバーの選定等			● 会議の開催 良好な取組事例収集・周知、やまなし技術者スピリッツへの参加など								
【備考】 R 6 年度 会議：1 回開催 R 7 年度 会議：1 回開催予定											
【再掲】											
施策番号・名	(8) 女性技術者と女子生徒との意見交換会の開催										

3 産学官の連携強化

施策番号・名	(1 4) 建設産業担い手確保・育成産学官連携会議の開催										
施策内容：若手の担い手確保・定着を図るため、産学官の機関がより一層連携を強化し、一体となって担い手確保の現状や課題等を情報共有するとともに、現行実施している取り組みの効果を検証し、より効果的な取り組みを継続的に展開 ：建設産業担い手確保・育成アクションプランの検証・改定											
施策対象	産学官										
☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 新規											
主 体	県、建設産業関係団体、県教委等										
産学官 の役割	産	内外との連携強化									
	学	内外との連携強化									
	官	内外との連携強化									
施策スケジュール											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
				連 携 会 議 ① ●						連 携 会 議 ② ●	
		適宜書面協議									
【備考】 R 6 年度 会議：2 回開催 R 7 年度 会議：2 回開催予定											

<参考>

○「建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画」(R7.3) より

～トップの意識を変えて、現場が変わる。担い手確保につなぐ、全ての人が働きやすく働きがいのある魅力ある建設産業の実現へ～

・働きやすく柔軟な働き方のできる環境整備

仕事と家庭の両立のための制度（育児休業・介護休業等）や柔軟な働き方のできる勤務制度（フレックスタイム制、テレワーク等）といった取り組みを促進することで、ライフイベント（出産・育児・介護等）に応じた柔軟な働き方ができ、離職・求職した場合にも、円滑な復職ができることを目指す。

・女性が働きやすい領域

内装、左官、重機オペレーター、建設ディレクター、BIMオペレーター等

・現場における働き方改革の具体例

ICTの積極的活用などによる現場での一堂に会した朝礼の見直しや作業分担の工夫、現場直行・直帰への配慮などにより、男女ともに多様な働き方ができる働きやすい柔軟な現場運営の推進